2007年10~12月期GDP統計予測

~前期比+0.1%。内需減少により成長率が大幅に鈍化~

(1)内需減少が輸出増を相殺

2007年10~12月期の実質GDP成長率は前期比+0.1%(年率+0.4%)と、2四半期連続のプラス成長ながら、大幅に鈍化した見込み。7~9月期に続き外需寄与度は高かったものの、内需の減少がそのプラス影響を相殺した格好。内需の減少は、①住宅投資の大幅減、②設備投資の減少、③個人消費の増勢鈍化、が主因であり、わが国経済が調整色を強めていることを示す内容。

(2)需要項目の特徴

イ) 個人消費(前期比+0.1%、年率+0.4%)

ほぼ横ばい。液晶テレビ、次世代光ディスク録画機、健康管理ゲームなど教養娯楽耐久財が高い伸びとなったものの、①所得環境の悪化、ガソリン・灯油・食料品価格の上昇による実質購買力の低下、②天候不順による冬物商戦の不調、③外食・パチンコなどサービス支出の減少、などが下押し要因として作用。

口) 住宅投資(前期比▲10.9%、年率▲37.1%)

消費税引き上げ直後の反動減(1997年4~6月期)以来の大幅な落ち込み。着工戸数は持ち直し傾向にあるものの、進捗ベースでは8~10月の大幅減少の影響が集中的に現れることが原因。前期比でみた寄与度も、最大の成長率押し下げ要因に。

八) 設備投資(前期比▲0.5%、年率▲2.0%)

建築基準法の改正に伴う着工減の影響により建築投資が減少したほか、海外経済の先行き不透明 感などを背景に製造業の設備投資でも慎重姿勢が強まったため、2四半期ぶりの減少。

二) 政府支出

政府消費は、医療・介護費の拡大が続いているほか、公務サービスも持ち直したとみられることから、緩やかな増勢が持続。公共投資は3四半期連続の減少。

ホ)輸出(前期比+3.2%、年率+13.6%)

11四半期連続の増加で、増勢が一段と加速。米国向けは減少したものの、中国などの新興国、中東などの資源国向けが高い伸びになったため。

へ) 輸入(前期比+1.4%、年率+5.6%)

2四半期ぶりの増加。堅調な鉱工業生産活動を背景に財の輸入が増加したほか、サービス支払も押し上げに寄与。

ト) GDPデフレーター(前年同期比▲0.3%)

個人消費デフレーターには上昇圧力がかかったものの、資本財価格が下落したほか、輸入デフレーターも上昇傾向が続いたため、下落傾向が持続。

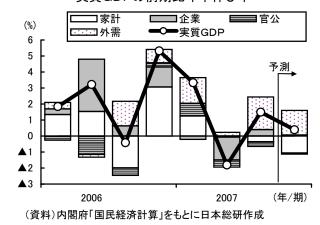
(3) 当面の展望~一段と厳しさを増す可能性

2008年入り後、建築着工の減少によるマイナス影響は徐々に剥落していくものの、以下の3点が下押し要因として働くため、景気は一段と厳しさを増す可能性。

- イ) 米国景気の大幅鈍化による外需牽引力の低下
- ロ) 所得環境悪化による家計マインドの弱含み
- ハ) 株価下落などによる設備投資姿勢の慎重化

 $1 \sim 2$ 月の製造工業生産予測指数が減少に転じたことは、上記の下押し要因が強まりつつあり、 $1 \sim 3$ 月期のわが国経済がマイナス成長に陥る可能性を示唆している。

実質GDPの前期比年率伸び率



GDP統計予測表 < 2008年1月31日時点の公表系列をもとに作成>

■ 前期比															6、十億円)	
	実質GDP	4.5										4 E			名目GDP	デフレーター
		内需		民需								外需				
			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	個人消費	住宅投資	設備投資	民間在庫	D A III	政府消費	公共投資	公的在庫		輸出	輸入		
2006/10 ~ 12	1.3	1.1	1.4	1.2	1.9		▲ 33.1	0.3	▲ 0.3	3.0		988.7	1.0		1.3	
2007/ 1 ~ 3	0.8 ▲ 0.5	0.5	0.3	0.6	▲ 1.6		52.7	0.9	0.2	4.9		2028.2	3.2		0.5	
4 ~ 6 7 ~ 9	0.5	▲ 0.5 ▲ 0.1	▲ 0.5 0.0	0.2 0.3	▲ 3.8 ▲ 7.9		▲ 514.3 ▲ 449.5	▲ 0.5 ▲ 0.4	0.3 0.2	▲ 4.6 ▲ 2.3	137.2 ▲ 101.2	388.1 2371.0	1.0 2.6		▲ 0.5 0.2	▲ 0.0 ▲ 0.2
10 ~ 12	0.1	▲ 0.3	▲ 0.3	0.1	▲ 10.9	▲ 0.5	536.0	▲ 0.1	0.2	▲ 1.8	73.6	2015.0	3.2		0.1	0.0
															6、十億円)	
2006/10 ~ 12	5.3	4.6	5.6	4.9	7.8	8.0	-	1.2	▲ 1.2	12.5	-	_	4.2	▲ 1.0	5.1	▲ 0.2
2007/ 1 ~ 3	3.3	1.8	1.3	2.6	▲ 6.2	▲ 1.6	_	3.7	0.7	21.0	_	_	13.3	3.9	2.1	▲ 1.2
4 ~ 6	▲ 1.8	▲ 2.0	▲ 2.0	0.8	▲ 14.5		-	▲ 2.1	1.1	▲ 17.1	-	_	3.9		▲ 1.8	
7 ~ 9 10 ~ 12	1.5 0.4	▲ 0.3 ▲ 1.1	0.1 1 .3	1.2 0.4	▲ 27.9 ▲ 37.1	4.6 ▲ 2.0	_	▲ 1.4 ▲ 0.3	0.7 0.8	▲ 9.0 ▲ 6.9	_	_	11.0 13.6		0.7 0.4	▲ 0.8 0.1
■ 前年同期比	0.01	17	0.01	1.0	0.0	7.01	070.4	A 0.0	0.0	A 100	0.7	041.0	C 4	I 0.0		6、十億円) • • • • • •
$\frac{2006}{10} \sim 12$ $\frac{2007}{1} \sim 3$	2.3 2.8	1.7 2.3	2.8 3.1	1.6 1.7	0.6 ▲ 0.9		278.4 192.8	▲ 2.3 ▲ 0.4	0.0 0.8	▲ 10.3 ▲ 4.3	8.7 A 33.0	941.6 1155.4	6.4 7.2		1.7 2.4	▲ 0.6 ▲ 0.4
4 ~ 6	1.6	0.6	0.8	1.2	▲ 2.6		2.6	0.1	0.5	▲ 2.4	17.3	1279.3	7.5			
7 ~ 9	1.9	0.9	1.1	2.3	▲ 11.3		▲ 246.8	0.3	0.4	▲ 0.1	▲ 15.0	1462.8	8.0		1.4	▲ 0.4
10 ~ 12	0.6	▲ 0.4	▲ 0.5	1.2	▲ 22.4	▲ 1.5	▲ 127.0	▲ 0.3	8.0	▲ 4.1	▲ 2.8	1778.9	10.4	2.8	0.4	▲ 0.3
														(%)		
2006/10 ~ 12	1.3	1.1	1.0	0.7	0.1	0.3	▲ 0.0	0.1	▲ 0.1	0.1	0.0	0.2	0.2			_
2007/ 1 ~ 3 4 ~ 6	0.8 ▲ 0.5	0.4 ▲ 0.5	0.2 ▲ 0.4	0.4 0.1	▲ 0.1 ▲ 0.1	▲ 0.1 ▲ 0.3	0.0 ▲ 0.1	0.2 ▲ 0.1	0.0 0.0	0.2 ▲ 0.2	▲ 0.0 0.0	0.4 0.1	0.5 0.2			_
7 ~ 9	0.4	▲ 0.3	0.0	0.1	▲ 0.1		▲ 0.1	▲ 0.1	0.0	▲ 0.2	▲ 0.0	0.1	0.2		_	_ _ _
10 ~ 12	0.1	▲ 0.3	▲ 0.2	0.1	▲ 0.4	▲ 0.1	0.1	▲ 0.0	0.0	▲ 0.1	0.0	0.4	0.6		_	_
■ 前期比年率·寄与度 (%															(%)	
2006/10 ~ 12	5.3	4.5	4.2	2.8	0.3		▲ 0.0	0.3	▲ 0.2	0.5		0.7	0.7	0.2	_	_
2007/ 1 ~ 3	3.3	1.7	1.0	1.5	▲ 0.2		0.0	0.8	0.1	0.9		1.5	2.2			_
4 ~ 6 7 ~ 9	▲ 1.8 1.5	▲ 1.9 ▲ 0.3	▲ 1.5 0.0	0.4 0.7	▲ 0.5 ▲ 1.0		▲ 0.4 ▲ 0.3	▲ 0.4 ▲ 0.3	0.2 0.1	▲ 0.7 ▲ 0.4	0.1 ▲ 0.1	0.3 1.7	0.7 1.9		_	_
10 ~ 12	0.4	▲ 0.3	1.0	0.7	▲ 1.0		0.3	▲ 0.3	0.1	▲ 0.4 ▲ 0.3	0.1	1.7	2.4	▲ 0.9	_	_ _ _
■ 前年同期比	宏与度	•					<u> </u>		·							(%)
2006/10~12	2.3	1.6	2.1	0.9	0.0	0.9	0.2	▲ 0.5	0.0	▲ 0.5	0.0	0.7	1.0	▲ 0.3	_	(70)
2007/ 1 ~ 3	2.8	2.2	2.3	1.0	▲ 0.0		0.1	▲ 0.1	0.1	▲ 0.2	▲ 0.0	0.9	1.1	▲ 0.2	_	_
4 ~ 6	1.6	0.6	0.6	0.7	▲ 0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	▲ 0.1	0.0	0.9	1.2		_	_
7 ~ 9	1.9 0.6	0.9 ▲ 0.4	0.8	1.3 0.7	▲ 0.4	0.1 ▲ 0.2	▲ 0.2 ▲ 0.1	0.1	0.1	▲ 0.0	▲ 0.0	1.1 1.2	1.4 1.7	▲ 0.2 ▲ 0.4	_	_ _
10 ~ 12	0.0	▲ 0.4	▲ 0.4	0.7	▲ 0.8	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.1	0.1	▲ 0.2	▲ 0.0	1.2	1.7	▲ 0.4		_

⁽注1)民間在庫、公的在庫、外需の前期比、前年同期比はそれぞれ前期差、前年同期差。

⁽注2)実績値は、基礎統計の追加、季節調整のかけ直しなどの要因により、内閣府公表の数値とは異なっている可能性もある。